

# 2021（令和3）年度 学校評価報告書

2022（令和4）年3月31日

学校法人聖母学園

新発田聖母こども園

園長 遠見 正子

## 1. 本園の建学精神

『愛』 【出典】ヨハネ 13：34 ほか

「あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。

わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。」

## 2. 本園の教育目標

### ① 健康で明るく、たくましい子ども

- ・笑顔の絶えない元気な子
- ・失敗しても挫けない、意欲的な子

### ② よく見、よく考え、創造的な子ども

- ・よく話を聞き、行動にうつせる子
- ・自分の気持ちを言葉で表現できる子
- ・想像から創造力を発揮する子

### ③ 神さまと友だちを愛し、思いやりのある子ども

- ・感謝の気持ち「ありがとう」の言える子
- ・まわりの人のために喜んで行動のできる子

### 乳児部（0・1・2歳児）

- \* 保育者と親しみ愛着関係を築き、愛情を感じながら育つ
- \* 心地よさの中で、基本的な生活習慣を身につける（遊ぶ・食べる・排泄・寝る）

### 幼児部（3・4・5歳児）

- \* 基本的な生活習慣を身につけ、自分のことは自分でやり遂げる力をつける
- \* 自分の気持ちを言葉でつたえる
- \* 様々な経験や活動を通して行動力、思考力、表現力を身につける

## 3. 2021（令和3）年度事業計画と報告【別紙1参照】

## 4. 本年度の重点的に取り組む目標に対する評価

- 一人ひとりの成長に寄り添い援助を行う
- 保育環境（人的、物的）を整え保育を行う

	評価項目	評価	取り組みと結果
I	一人ひとりの成長に寄り添い援助を行う	A	一人ひとりの成長記録、経過記録をとり成長の様子を共有し、課題や注意すべきことの確認を行った。早朝、延長時の様子も含め担任、副担任、その他複数の目で確認し、個別の援助について考えることができ、目標は達成できた。
II	保育環境（人的、物的）を整え保育を行う	A	保育室の安全点検を毎日しっかりと行い危険箇所を点検した。 引き続き新型コロナウイルス感染予防対策を【別紙2】徹底した。 ヒヤリハットの学期ごとの集計分析を参考に安全な環境を整えた。 担任、副担任において関わり方について共通理解をはかり援助にばらつきがないよう確認をして行うことができた。

## 5. 本年度の取り組みについて

- ・保護者へのアンケート実施
- ・教職員の自己点検・自己評価の実施
- ・ヒヤリハットの報告書の活用
- ・苦情処理：処理件数1件
- ・避難訓練の実施（年間計画に基づき1か月に1回）
- ・学校関係者評価委員会（新型コロナウイルス感染症対策で書面による）

## 6. 今後の取り組むべき課題

- ・感染予防対策も含め指導計画の見直し（2022年度においてあたらしにする）
- ・保育者の配置の工夫（乳児部月齢による補助者の配置、支援が必要な子への対応）
- ・リモートを活用した研修会への積極的参加

## 【別紙 1】

## 2021 年度事業計画書についての報告

## 指導計画と結果

	計 画	結 果
乳 児 部	保育者体制を整える。	保育の方向性を整えるため、クラス内保育者同士の連絡を密に行った。 月齢や支援が必要な子に応じた補助者の配置を工夫した。
	登園時の視診の徹底、保護者へ子どもの様子を伝える。家庭との連絡を密にする。	検温、体調チェックは徹底した。家庭との連絡徹底は概ねできた。
	一人ひとりの姿をしっかりとらえ、成長へとつながる保育を心掛ける。	経過記録をしっかりと取り、成長の様子を確認しながら進めた。
	「ヒヤリハット」を確認し安全な保育を心掛ける。	学期ごとに集計分析し、再発防止に努めた。

	計 画	結 果
幼 児 部	カリキュラムの充実	行事の変更等もあったが、概ねできた。
	縦割り保育（ノアの日）の実施 縦割りでの芋ほり遠足の実施	コロナ対策のため、クラス単位での活動を強いられた月には実施を控えたが、実施の際は、年少児を思いやる姿が多々見られた。
	成長過程を基本に、一人ひとりの成長にあわせた目標を掲げる。	一人ひとりの毎日の様子を記録することで、成長の様子を見守り援助することができた。
	菜園での栽培とクッキング	コロナ予防対策でクッキングは年2回のみの実施となった。野菜栽培は各クラス行い、野菜は給食材として食した。

	計 画	結 果
愛 児 会	愛児会行事は感染対策のためお休みとした。	「なつまつり」にかわり園で「おまつりごっこ」を行った。

## 施設拡充に関わる件について

- ① スクールバスの入れ替え
- ② 1階保育室間仕切りの抗菌クロスへの張り替え

## 【別紙2】

### 新型コロナウイルス感染症対策

#### 【日常において】

- ・うがい、手洗いの徹底。(食事前はアルコール消毒を行う)
- ・園児は玄関でお預かりし、おかえしする
- ・来訪者については園内への立ち入りをお断りする。修繕作業や点検作業等の方は、来訪者日誌を記入のうえ、手指消毒、マスク着用で許可する。
- ・3歳以上児はマスク着用を着用する。
- ・給食の際はできるだけおしゃべりをしない。
- ・バスの乗車時はマスクを着用する。

#### 【行事について】

- 5月 参観日は2日間分散で行い保育室内の密を避ける。  
愛児会総会は参観日が分散開催のため、書面で行う。
- 7月 プール遊び(市民プールの利用は中止)
- 8月 園内でのプール遊びは密を避け時間を区切って1回の利用者数を減らす。
- 9月 運動会 実施予定日は濃厚接触者が出たため中止とする。  
予定日翌週の平日に会場を借り園児のみで実施。(DVD撮影)
- 10月 幼児部2班に分け「サツマイモ掘り遠足」を行う。
- 11月 幼児部フリー参観日 参観時間は1時間以内とする。
- 12月 クリスマスお祝い会 市内クラスター発生のため、無観客で開催(DVD撮影)
- 1月 参観日 市内感染者数増加のため 中止
- 2月 ひなまつり発表会 無観客で開催(DVD撮影)
- 3月 卒園式 時間短縮、参列者人数制限で行う。式後のお別れ会は中止。

\*ノアの日 感染状況においてクラス単位での活動が好ましいときは中止とした。

\*クッキング 手洗い、身支度等、衛生管理を徹底して年2回行った。

\*毎月のお誕生会 誕生児の保護者も参加して行う。

保護者人数は1名で健康観察をお願いします。

\*始業式、終業式、卒園式等、遊戯室に集まる際は感覚を十分にあげ換気を行う。

【参考資料】

新発田聖母こども園の沿革

和 暦	西 暦	月 日	事 項	備 考
昭和 29 年	1954 年	3 月 1 日	宗教法人カトリック新潟教区・新発田聖母幼稚園 設置認可（初代園長クリスチャン・ガスペルス神父）	新潟県指令自第 343 号
昭和 29 年	1954 年	4 月 1 日	<b>新発田聖母幼稚園の開始日</b>	
昭和 55 年	1980 年	9 月 1 日	新園舎の完工	
昭和 57 年	1982 年	3 月 31 日	学校法人聖母学園への設置者変更認可 学校法人聖母学園新発田聖母幼稚園となる	新潟県内 17 園とともに学校法人化となる 新潟県指令文自第 198 号 (認可定員 120 名)
平成 25 年	2013 年	4 月 1 日	学則変更により認可定員を 120 名から 100 名とする	
平成 27 年	2015 年	4 月 1 日	施設型給付の幼稚園となる	子ども・子育て支援新制度スタートする (利用定員 60 名)
平成 28 年	2016 年	7 月 15 日 3 月 30 日	認定こども園施設整備交付金を利用し増築。大規模修繕事業を行う	国・県・新発田市からの補助金
平成 29 年	2017 年	3 月 28 日	<b>「認定こども園新発田聖母こども園」として認可される</b>	新潟県少対第 804 号
平成 29 年	2017 年	3 月 31 日	学校法人聖母学園新発田聖母幼稚園を廃園届（63 年間）	認定こども園（幼保連携型に移行のため）
平成 29 年	2017 年	4 月 1 日	学校法人聖母学園 認定こども園 新発田聖母こども園（幼保連携型）としてスタートする（利用定員 90 名）	子ども・子育て支援新制度による (認可定員 105 名)
平成 29 年	2017 年	9 月 23 日	認可定員を 117 名に学則変更し届け出る（保育室面積から割り出した人数にあわせる）	新発田市の要請により 0 歳児 3 名から 6 名に変更し、保育室面積を広げる (利用定員 90 名)